



## グループホームあいら

設計=コスモプラン 施工=春園組

鹿児島県肝属郡吾平町 構造・規模=木造・平屋建 敷地面積=2,990㎡ 延床面積=529㎡ OM集熱面積=194㎡, 123㎡

写真/スティング: 櫻井一光



南側から、手前にA棟、奥にB棟屋根のOMソーラーシステムの集熱面を見下ろす。認知症グループホーム2ユニットを2棟に配置、地域と交流できるような建物としている。



西側庭の池越しに見る全景。人工的に設けたビオトープの水の循環設備の電源として利用する、ハイブリッド型風力発電システムの風車が立っている。



配置図 1/800



東側から見下ろす航空写真。左にA棟、右にB棟、奥に池が見える。



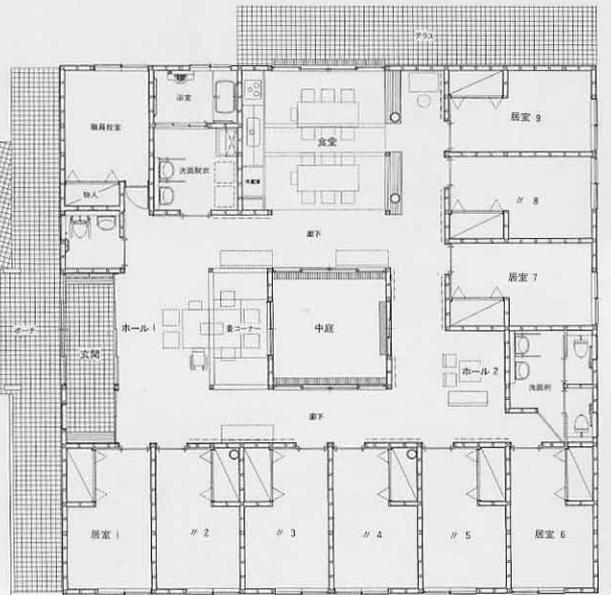
A棟の玄関ホールから居室前の廊下を見る。廊下の左側にOMソーラーシステムの立下がりダクトが3本見える。



A棟

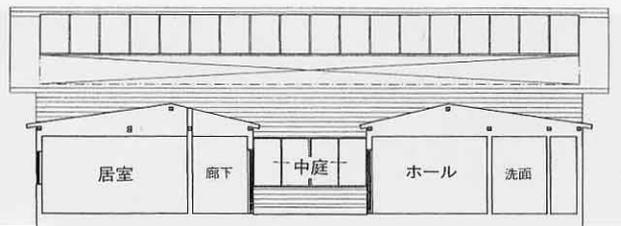


2棟の入口を見る。外壁は地元の杉材を使ったドイツ下見板張りの木造平屋建て。

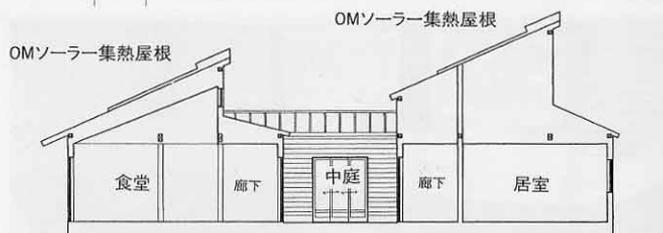


B棟

平面図 1/250



A棟 東西断面図 1/250



B棟 南北断面図

●立地条件

敷地は鹿児島県大隈半島のほぼ中心に位置する。周辺には神武天皇東征の地として有名で市民の精神的な拠り所となっている吾平山稜とスポーツ、レクリエーション、憩いの場としての県立大隈広域公園、また、果物栽培を中心とした観光農園が広がっている。

●建築の目的

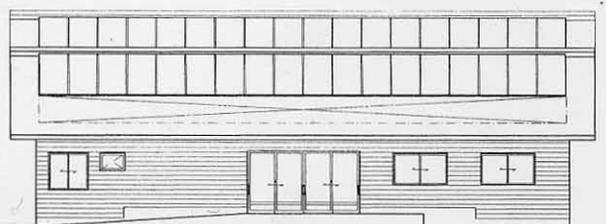
認知症老人グループホーム2ユニット(18人)を中心に、彼らを地域社会から孤立させないように地域の人びととなるべく交流できるような建物にし、このことが介護予防や地域活性化につながることを考えた。

●建築計画

木造平屋とし、建築材料は地元産の木材を使用した。高齢者には特に良い、外気取り入れ型太陽光利用空気循環型暖房システム(OMソーラーシステム)や、太陽光発電システムによる充電や、敷地内に人工的に設けたビオトープの水の循環設備電源に利用するハイブリッド型風力発電システムなどを導入した。広い敷地を生かし農園を作り、地域の人びとの農業指導の基で積極的に農業生産を行なっている。認知症老人には園芸療法になり、地域との交流の場にもなる。ここで生産した作物は、地域の中心市街地で市民に販売したり、さらに東京の施設(知的障害者生活支援施設)でも都会の人びとも販売して、

大きな地域間交流が始まっている。将来は、吾平ブランドのワインも生産されるかもしれない。

今回NEDOの補助事業として、OMソーラー、太陽光発電、風力発電について、1/2の補助金を受けた。さらに、啓発事業としても補助金を受け、地域の学童所を中心に10カ所ほど啓蒙活動をした。環境問題に関心がある教育者やPTAが建築中にもOMソーラーの仕組みを見学に来た。建物の運営が始まって、小屋裏部屋に子供たちが上がり、OMソーラーの仕組みを見学できるようにしてある。施設利用者と子供たち、地域住民の多様なノーマライゼーションが今後も発展することを期待している。(コスモプラン：水野直樹)



A棟 南立面図 1/250



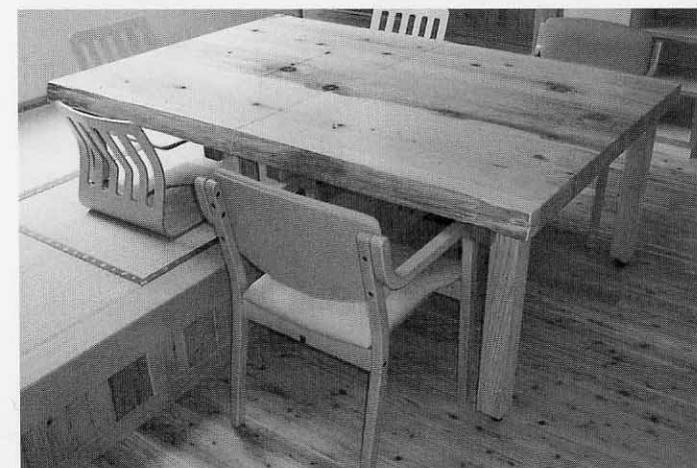
A棟 東立面図



B棟の廊下から畳コーナーと玄関を見る。 左手には居室の入口が並んでいる。 自然エネルギーを利用し、地元の杉材を使った高齢者にやさしい住環境としている。



食堂のテーブルを見る。



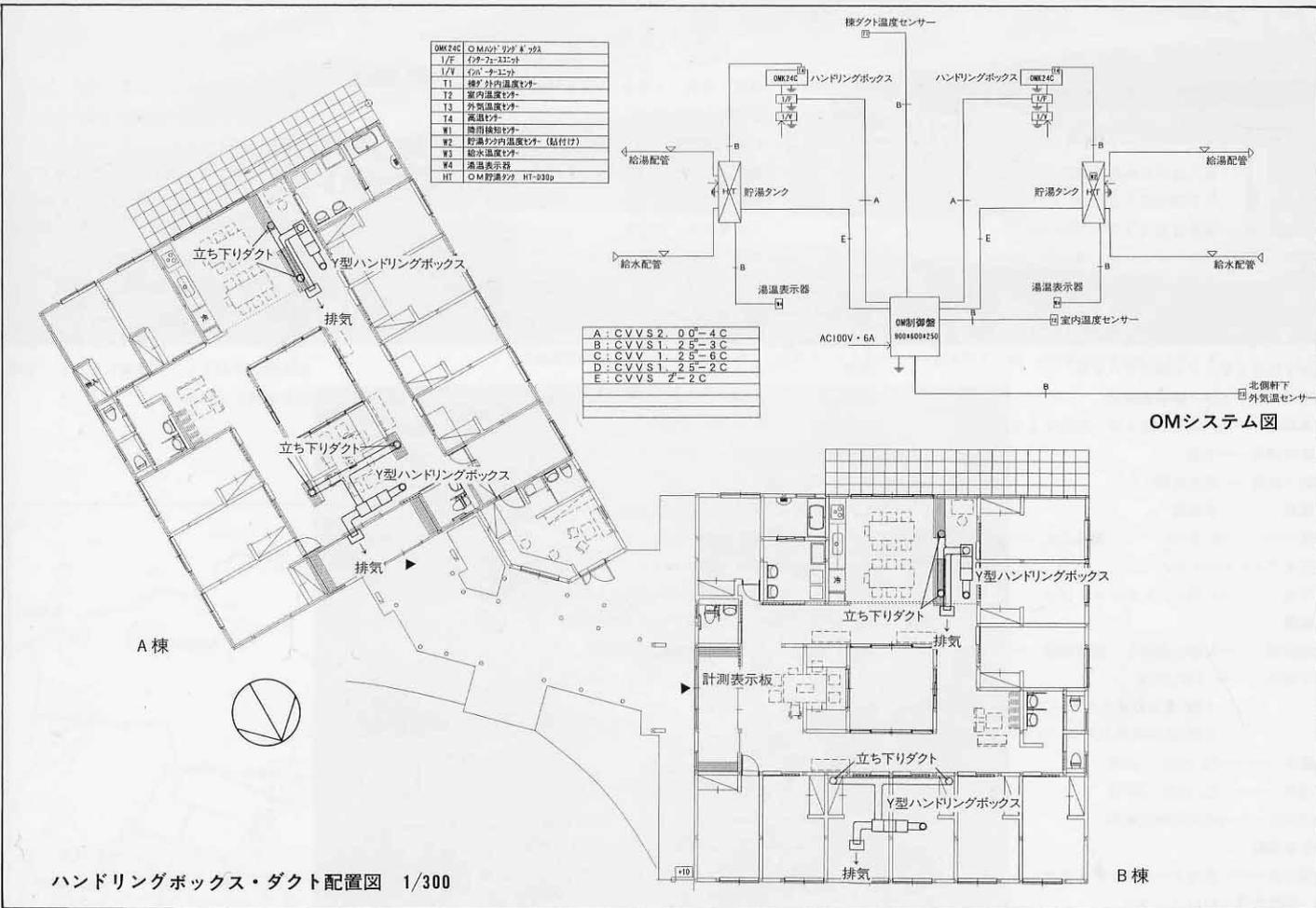
椅子座と床座の、入居者が一緒に使えるテーブル。



地元の檜を使った浴室を見る。



食堂からテラス方向を見る。立下がりダクトのところに食器棚とOM飾り台を設けている。





A・B 2棟間のアプローチを見る。



A棟の中庭から食堂を見る。

## データ

●建物名——グループホームあいら  
 所在地——鹿児島県肝属郡吾平町上名5324-2  
 建築主——社会福祉法人恵仁会  
 主な用途——認知症老人グループホーム  
 ●設計・監理——コスモプラン(株)一級建築士事務所  
 設計期間——2002年1月31日～2002年10月31日  
 ●施工——柳春園組  
 電気・空調工事——中外電気(株)  
 給排水衛生工事——ケイ総合サービス  
 OMソーラー工事——柳春園開発  
 工事期間——2002年11月1日～2003年3月30日  
 ●主体構造——木造  
 基礎・地業——直接基礎  
 ●規模——平屋建  
 軒高——6.350m 最高高さ——6.830m  
 主なモジュール——0.9m  
 天井高——2.40m, 2.40m～4.16m  
 ●面積  
 敷地面積——2,990.00㎡ 建築面積——573.94㎡  
 延床面積——529.15㎡  
 A棟(認知症老人グループホーム)274.10㎡  
 B棟(認知症老人グループホーム)255.05㎡  
 建蔽率——19.20% < 70%  
 容積率——17.70% < 400%  
 地域地区——都市計画区域内  
 ●主な設備  
 空調方式——空冷ヒートポンプエアコン  
 暖房方式——OMソーラー

熱源：電気，太陽光(空気集熱式)

給排水衛生——給水/水道本管直圧  
 給湯/減圧ガスボイラー  
 排水/合併式浄化槽28人槽  
 電気——受電/低圧3相3線  
 太陽光発電/10KW  
 防災——警報/自動火災報知設備  
 排煙/自然排煙 避難/非常灯・誘導灯  
 駐車場——12台(屋外・自走式)

### ●主な外部仕上

屋根——ガルバリウム鋼板横葺  
 外壁——杉板ドイツ下見板張塗装  
 建具——アルミ製(YKK)  
 外構——車路・駐車場/透水アスファルト

### ●主な内部仕上

玄関——天井・壁/クロス貼  
 床/磁器タイル  
 ホール・居室——天井・壁/クロス貼  
 腰壁/FL+900まで杉板張ユーロー塗装  
 床/木製縁甲板杉本実加工ユーロー塗装  
 浴室——天井・壁/檜緑甲板塗装  
 腰壁/FL+1,200まで半磁器タイル  
 床/磁器タイル

### ●OMソーラーについて

OM面積——ガラス付集熱面  
 幅6.8m×長さ3m=194.4㎡  
 ガラスなし集熱面/幅6.8m×長さ1.9m  
 (長さは2棟分の平均値)=123.12㎡  
 システム——お湯採り/あり

ハンドリングボックス/設置場所：小屋裏  
 OMK24C型×2台，OMK20N型×2台  
 標準OMソーラーシステムによる

関連事項——高齢者の集住施設を中心に，周辺地域の子供たちや住民たちが気軽に集うことで，世代間ノーマライゼーションを実践し地域福祉に貢献する。

また，環境対策(CO<sub>2</sub>削減)にも配慮し，太陽光，太陽熱，風力などの自然エネルギーを利用している。構造および仕上げは，地元産の木材とし，高齢者にやさしい住環境を実現している。

